

自治会自主防災活動に 関する手引き



久留米市校区まちづくり連絡協議会防災対策検討委員会

2023年3月改訂版

あなたの身近で災害が発生したら・・・

あなたの命は大丈夫ですか？

あなたの家族は無事ですか？

ご近所の方は無事ですか？

災害に対する備えはできていますか？

(この気持ちや行動が防災の入口だと思います)

過去の災害において多くの命を救ったのは、地域住民による的確で迅速な防災活動です。大規模災害になればなるほど被害は複合し、救助はなかなか到着しません。**普段から住民一人ひとりが自分の事として防災意識を持ち、また、地域の一員として助け合いの気持ちを持つことが重要です。**

“家族を守る” 気持ちと同様に **“私たちの地域は私たちで守る”** ために地域が主体となった防災活動を実行できるようにしていきましょう。

【自治会自主防災に関する手引き目次】

第 1	自主防災活動とは	P 1
1.	自主防災組織の目的	
2.	自治会自主防災組織の位置け	
3.	自治会自主防災組織の活動	
第 2	校区自主防災組織と自治会自主防災組織の役割 . . .	P 3
第 3	防災士と防災リーダーの役割	P 5
第 4	避難行動要支援者の支援	P 6
1.	個別計画による支援	
2.	地域の支援	
第 5	地域独自避難所	P 8

第1 自主防災活動とは

1. 自主防災組織の目的

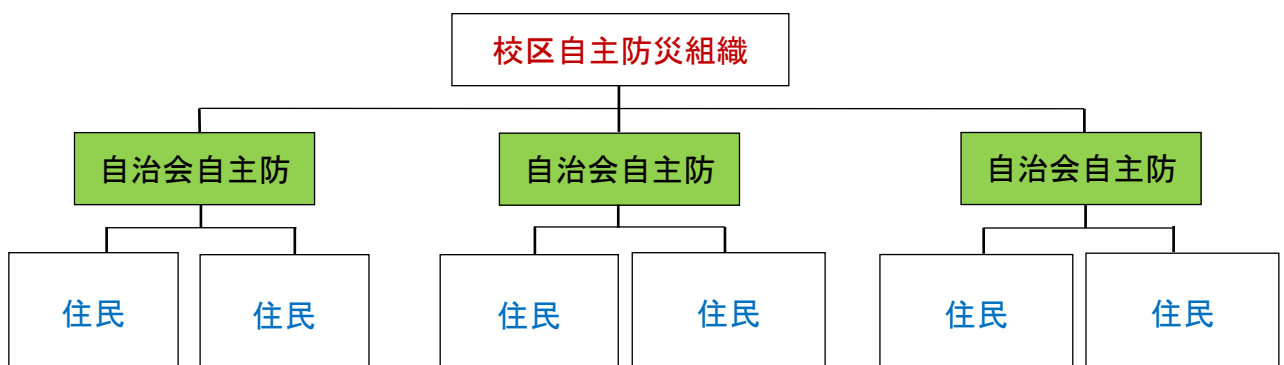
招かざる災害に際し、同じ地域に住む住民同士で支えあい、助け合って、お互いの生命・財産を守ることを目的とします。（自助・共助＝近助）

そのため、組織的行動・活動ができるよう、体制・役割を明確にしておくこと、日頃から万一の災害に備えた意識づくりや訓練を継続して行うことが重要です。



2. 自治会自主防災組織の位置付け

校区自主防災組織が円滑にまわるためには、自治会自主防災組織の活動が重要です。校区と自治会で役割を分担し、明確にしておきましょう。



3. 自治会自主防災組織の活動

自主防災活動は校区や地域全体がお互いに助け合うことで成り立ちます。校区と自治会が協力して地域の安全を守りましょう。

① 日常における活動

平常時には、防災知識の普及や啓発、防災訓練などを行いましょう。



② 災害における活動

災害時には、情報を収集し、被害情報の集約や民生委員・児童委員などと協力して避難行動要支援者の安否確認や避難支援などを行いましょう。



自治会自主防災活動のポイント

◆自主防災活動の**目的は一つ**。それは「**命を守ること**」。

1. **組織づくり・人づくり**（整然・簡素、構え）・（防災リーダー養成）
2. **すぐに動ける体制と役割**（初動とタイミング、誰もが）
3. **続けられる体制と役割**（継続、被災の長期化）
4. **すぐに伝わる連絡網と情報伝達の仕組み**（ルートとルール、方法）

※『私たちの地域は私たちで守る～自主防災マニュアル編～』付録2「自主防災活動 活動のステップ一覧と活動の実例集」活動項目 A を参照

第2 校区自主防災組織と自治会自主防災組織の役割

校区の自主防災活動を円滑に行うためには、**地域の情報収集が鍵**となります。**地域の情報収集に努め校区自主防災活動をサポート**しましょう。また、可能な範囲で独自避難所の開設・運営等を行いましょう。

	校区自主防災組織	自治会自主防災組織
活動範囲	校区全体	自治会
主な活動	・ 情報収集 ・ 情報伝達 ・ 避難所運営 ・ パトロール ・ 市、消防団、民生委員などとの連絡調整 ・ 校区災害対策本部の運営など	・ 避難者状況の把握 ・ 避難行動要支援者対応状況の把握 ・ 被害状況の把握 など (可能な範囲で) ・ 独自避難所の開設・運営 ・ パトロール



自治会自主防災活動のポイント

◆災害発生時には、校区自主防災組織だけでは人手が足りず、十分な活動はできません。自治会内で発生した出来事や住民の安全確保に関する報告は自治会自主防災組織が集約して校区自主防災組織に連絡しましょう!!



◆自治会も状況によって限られた人数しか活動できませんので、まずは要配慮者又は手助けが必要な人（避難行動要支援者名簿登録者など）の安否確認や避難支援を優先し、校区自主防災組織と情報を共有しましょう!!



第3 防災士と防災リーダーの役割

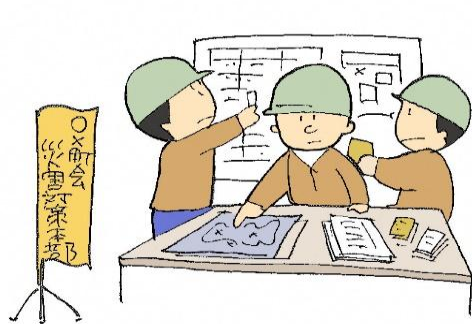
地域活動の基盤である自治会自主防活性化のため、これまでの防災士資格取得支援に加え、市独自の防災リーダー養成事業に取り組んでいます。

防災士と防災リーダーの主な違いは、活動範囲です。

防災士は、校区全体の防災活動の主導者として、**防災リーダーは各自治会での防災活動の主導者**として役割を分担し、**相互に連携と協力**をしながら防災活動を行いましょう。

		防災士	防災リーダー
活動範囲		校区全体のマネジメント	自治会のマネジメント
活動内容	平常時	・ 校区防災研修会の実施 ・ 校区防災訓練の実施 ・ 防災リーダーとの連携 など	・ 自治会防災研修会の実施 ・ 自治会防災訓練の実施 ・ 防災士との連携 など
	災害時	・ 校区災害対策本部の運営 など	・ 自治会長との連絡・調整・助言 など

※『私たちの地域は私たちで守る～自主防災マニュアル編～』付録2「自主防災活動 活動のステップ一覧と活動の実例集」活動項目 A を参照



第4 避難行動要支援者への支援

災害時に自力や家族だけでは避難することが困難な方々の避難を助けることは、自主防災組織の災害時における重要な役割です。

災害時に誰（避難行動要支援者）を、誰（と誰）が、どんな方法で、どのルートで、どこに避難させるかを平常時にしっかりと決めておく必要があります。

1. 個別避難計画による支援

避難行動要支援者ご本人と、地域の支援者、ケアマネジャーなどの専門職、社会福祉協議会や行政で協力して、実際に避難ができる計画を作成しましょう。



自治会自主防災活動のポイント

- ◆住んでいる地域では、どんな災害が考えられるか確認しましょう。
- ◆身体状況や生活状況を確認しましょう。
- ◆災害にどのような備え（持ち出し品・移動手段・連絡手段）が必要か確認しましょう。
- ◆必要な支援について、みんなで話し合いましょう。

2. 地域による支援

避難行動要支援者名簿を活用し、地域で安否確認や避難行動の支援を行
いましょう。



自治会自主防災活動のポイント

◆地域の避難行動要支援者を確認しましょう。

⇒名簿登録者も毎年変わっていきます。地域のどこに、支援を必要とする人がいるのかを支援者（自治会自主防災組織、民生委員・児童委員、消防団など）で確認しましょう。

◆誰（たち）が、誰をどのように支援するかを確認しましょう。

⇒支援を必要とする人への、情報伝達・安否確認等の体制をあらかじめ決めておきましょう。

◆日頃から災害時要支援者と支援者間でコミュニケーションを図りましょう。

⇒日頃からのつながりがあれば災害時の支援もスムーズになります。

※『私たちの地域は私たちが守る～自主防災マニュアル（別冊）～（避難行動要支援者名簿活用編）』参照

※『私たちの地域は私たちが守る～自主防災マニュアル編～』付録2「自主防災活動 活動のステップ一覧と活動の実例集」活動項目Dを参照

第5 地域独自避難所

近年の災害の頻発化、大規模化により、地域住民の避難意識が高まっています。『より早い段階での避難』や、『より身近な場所での避難』等、個人のニーズにあった避難所の開設を実現するため、地域が企業等と協定を結び地域が独自に避難所を開設・運営する地域独自避難所の運用に取り組んでみましょう。



自治会自主防災活動のポイント

◆地域で指定避難所が遠いなどの声はあがっていませんか。

⇒ 地域で「避難情報が出る前に避難したい。」「もっと近くに避難場所が欲しい。」「車を避難させる場所が欲しい。」などの声はあがっていませんか。市が開設する指定避難所とは別に、地域が自由に開設・避難できる避難所が地域独自避難所です。

※『地域の独自避難所に関する手引き』参照

※『私たちの地域は私たちで守る～自主防災マニュアル編～』付録2「自主防災活動 活動のステップ一覧と活動の実例集」活動項目 A を参照